

今月の主要経済指標

目 次

| | |
|------------------------------|---|
| 今月の経済関係統計資料 | |
| (1) 宮崎県景気動向指数 | 1 |
| (2) 宮崎県の鉱工業指数 | 2 |
| (3) みやざきの賃金・労働時間・雇用の動き | 3 |
| (4) 宮崎市の消費者物価指数 | 4 |
| 【参考】 | |
| ・ 「月例経済報告」抜粋 | 5 |
| ・ 「宮崎県金融経済概況」抜粋 | 6 |
| ・ データ編 | 8 |

平成25年 4 月

宮崎県総合政策部統計調査課

(1) 宮崎県景気動向指数 (平成25年 1月分)

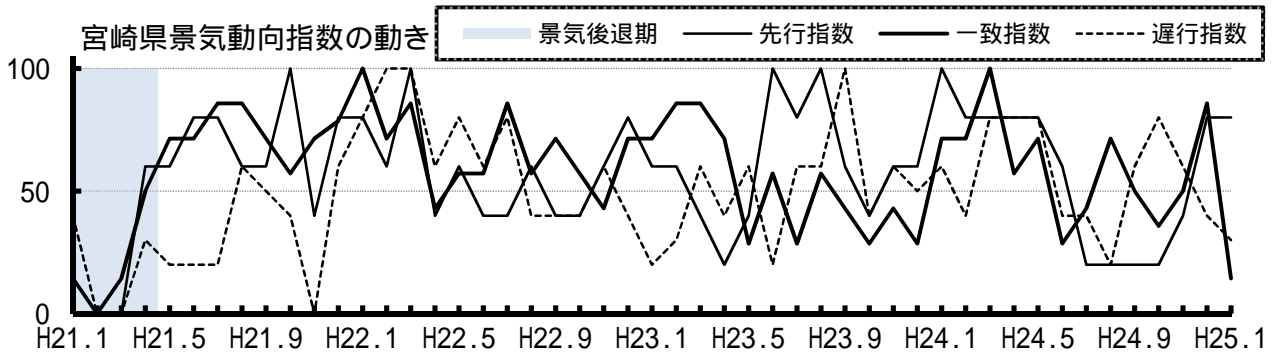
1 今月の動き

平成25年1月の本県のDIは、

先行指数は 80.0%となり、2か月連続で 50.0%を上回った。

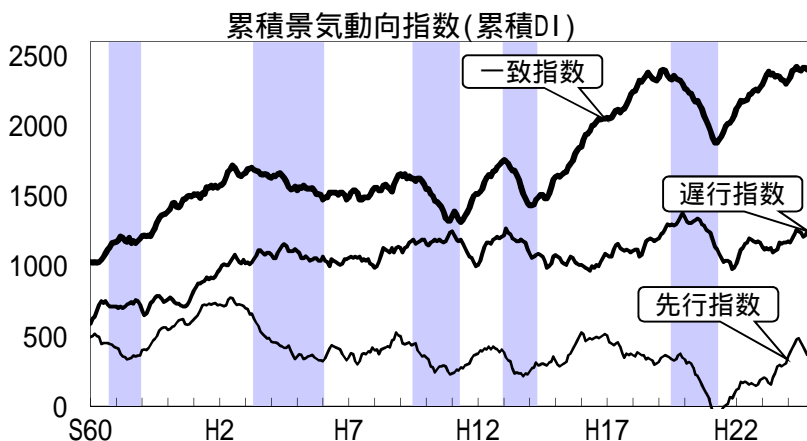
一致指数は 14.3%となり、2か月ぶりに 50.0%を下回った。

遅行指数は 30.0%となり、2か月連続で 50.0%を下回った。



| | 採用 指標数 | 拡張 指標数 | プラスの指標 (拡張指標) | マイナスの指標 |
|------|-----------|-----------|--|---|
| 先行系列 | 5 | 4 | 新規求人数 (パート含む)、新車登録台数 (乗用車)、新設住宅着工戸数、ホテル・旅館宿泊客数 | 鉱工業在庫率指数 (逆) |
| 一致系列 | 7 | 1 | 有効求人倍率 | 大口電力使用量、大型小売店販売額 (実質)、鉱工業生産指数、鉱工業出荷指数、輸入通関実績 (実質) |
| 遅行系列 | 5 | 1.5 | 家計消費支出 (勤労者世帯) | 消費者物価指数 (持家の帰属家賃を除く総合)、資本財出荷指数、貸出約定平均金利 |

2 累積景気動向指数



シャドウ部分：景気後退期

- 見やすくするため、先行指数には 500、一致指数には 1000、遅行指数には 600をそれぞれ加算している。

(参考)

景気動向指数 : 景気が上向きか、下向きかを総合的に示す指数である。50%を上回って推移しているときは景気拡張局面、下回って推移しているときは景気後退局面と判断される。

累積景気動向指数 : 各指数から景気判断の基準となる50を引くことで、景気の拡張・後退の動向だけを確認することができる指数である。

(2) 宮崎県の鉱工業指数 (平成25年1月分) (平成17年=100)

平成25年1月の鉱工業指数 (季節調整済指数)

注1

| | 宮 崎 県 | | 全国 (参考) | | 九州 (参考) | |
|-----|---------|-----|---------|-----|---------|-----|
| | 前月比 (%) | | 前月比 (%) | | 前月比 (%) | |
| 生 産 | 93.7 | 1.8 | 89.1 | 0.3 | 102.3 | 0.6 |
| 出 荷 | 91.8 | 0.2 | 90.0 | 0.3 | 102.9 | 4.2 |
| 在 庫 | 120.5 | 1.0 | 104.7 | 0.4 | 128.4 | 3.2 |

注1 季節調整済指数とは、1年を通してほぼ規則的に繰り返す季節的な変動を除去した指数であり、これにより前月との比較など短い期間の動向をみることができる。

【生産】

93.7 (前月比1.8%上昇) ~2か月連続の上昇~

生産指数 (季節調整済指数) は前月比1.8% (増) の93.7で、2か月連続で上昇した。これは、精密機械工業や一般機械工業などが低下したが、繊維工業や化学工業などが上昇したためである。

【出荷】

91.8 (前月比0.2%上昇) ~2か月連続の上昇~

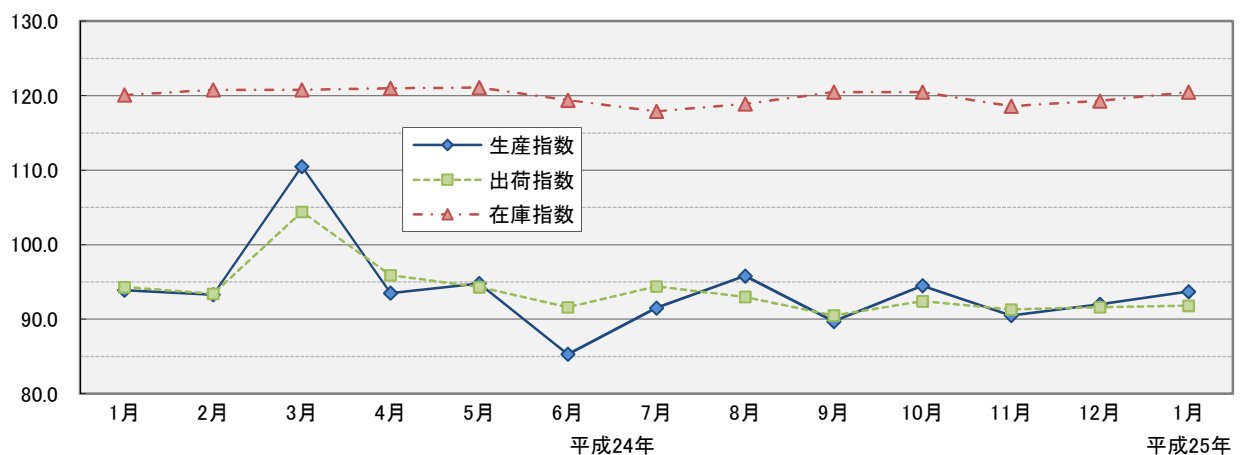
出荷指数 (季節調整済指数) は前月比0.2% (増) の91.8で、2か月連続で上昇した。これは、一般機械工業や金属製品工業などが低下したが、電子部品・デバイス工業や鉄鋼業などが上昇したためである。

【在庫】

120.5 (前月比1.0%上昇) ~2か月連続の上昇~

在庫指数 (季節調整済指数) は前月比1.0% (増) の120.5で、2か月連続で上昇した。これは、食料品工業や精密機械工業などが低下したが、その他工業や化学工業などが上昇したためである。

宮崎県の生産・出荷・在庫指数の推移 (季節調整済指数) (平成17年=100)



鉱工業指数は、生産・出荷を101品目、在庫を63品目選定し、それぞれ指数化することで、本県の鉱工業の動向を総合的に把握することを目的としています。

(3) みやざきの賃金・労働時間・雇用の動き (平成25年1月分)

宮崎県における平成25年1月の賃金、労働時間及び雇用に関する調査結果(調査産業計)は次のとおりです。

【調査結果のポイント】

- ・ きまって支給する給与は 210,889円で、前年同月比 1.7%減
- ・ 総実労働時間は 142.3時間で、前年同月比 1.5%減
- ・ 常用労働者数は 326,044人で、前年同月比 1.7%増

増減比は平成22年平均を 100とする指数で比較。

1 賃 金

「1人平均月間現金給与総額」は 220,192円で、前年同月比 1.1%減であった。
このうち、「所定内給与」は 197,278円、「所定内給与」に超過労働給与を加えた「きまって支給する給与」は 210,889円で、前年同月比 1.7%減であった。

2 労働時間

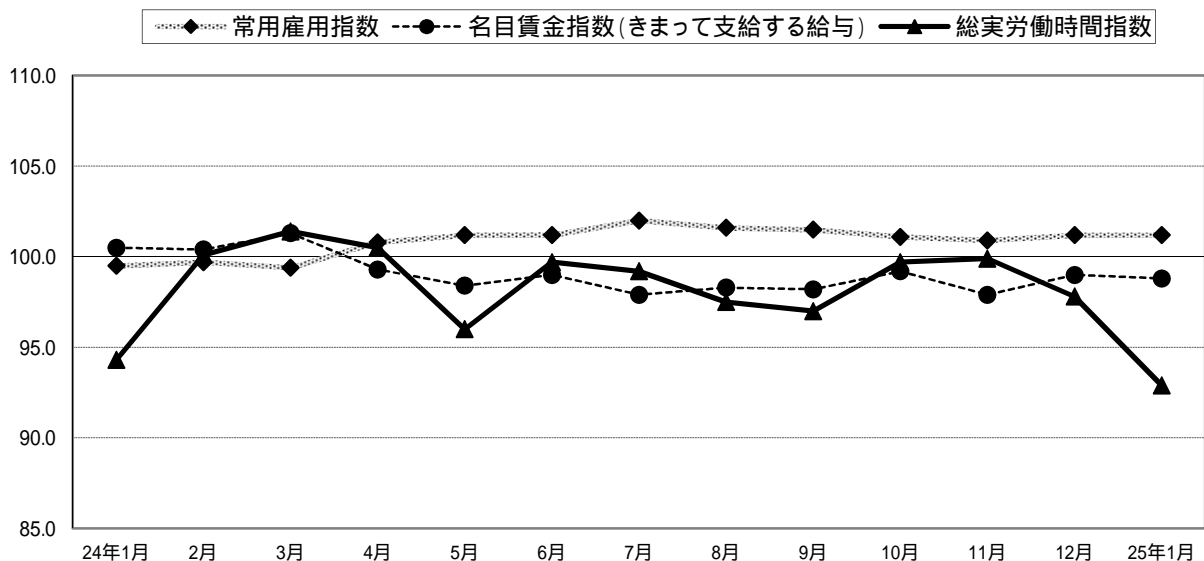
「1人平均月間総実労働時間」は 142.3時間で、前年同月比 1.5%減であった。
このうち、「所定内労働時間」は 132.7時間、「所定外労働時間」は 9.6時間であった。
また、「1人平均月間出勤日数」は18.9日で、前年同月差 0.4日減であった。

3 雇 用

「常用労働者数」は 326,044人で、前年同月比 1.7%増であった。

《参考》

| | 事業規模5人以上 | 前年同月比 (指数又は日での比較) |
|------------|----------|----------------------|
| 1 賃 金(名目) | | |
| 一人平均現金給与総額 | 220,192円 | (-)1.1% |
| 所定内給与 | 197,278円 | (-)2.2% |
| きまって支給する給与 | 210,889円 | (-)1.7% |
| 2 労働時間 | | |
| 総実労働時間数 | 142.3時間 | (-)1.5% |
| 所定内労働時間数 | 132.7時間 | (-)2.5% |
| 所定外労働時間数 | 9.6時間 | (+)13.0% |
| 出勤日数 | 18.9日 | (-)0.4日 |
| 3 雇 用 | | |
| 常用労働者数 | 326,044人 | (+)1.7% |



(4) 宮崎市の消費者物価指数(平成25年1月調査分)

| | |
|------------------------------|----------------------|
| 総合指数 99.9 (平成22年=100) | |
| 前月比(+) 0.4% | 前年同月比(-) 0.1% |

1 概況

平成25年1月の宮崎市の消費者物価指数は、平成22年を100とした総合指数で99.9となり、前月比は0.4%の上昇、前年同月比は0.1%の下落となった。

総合指数の動きを前年同月比で見ると、平成24年9月は0.1%の上昇、10月は前年と同水準、11月は0.6%の下落、12月は0.4%の下落、平成25年1月は0.1%の下落となった。

生鮮食品を除く総合指数は99.6となり、前月比は前年と同水準、前年同月比は0.1%の下落となった。

宮崎市の10大費目別指数、前月比、前年同月比及び寄与度(平成25年1月)

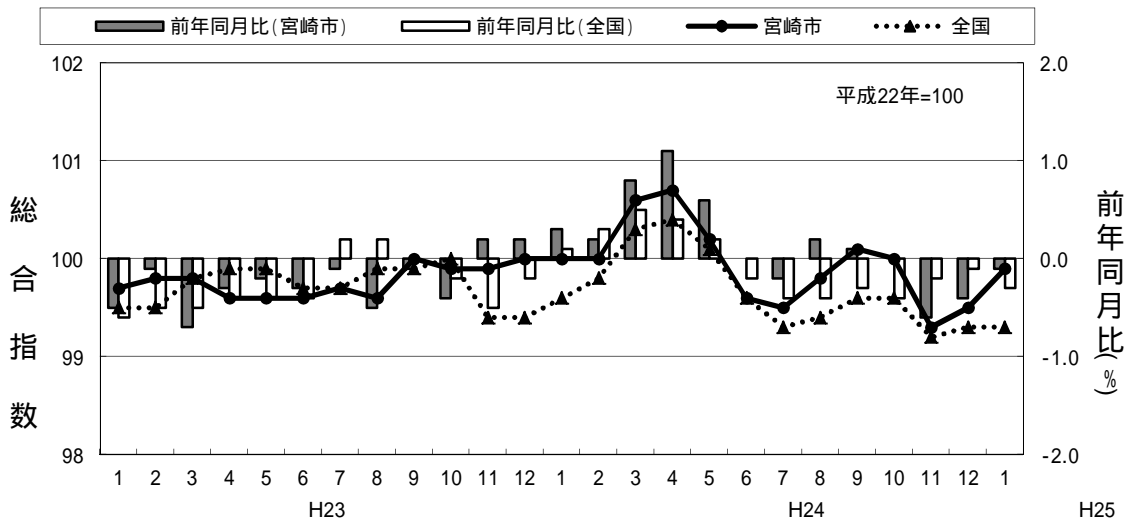
| 費目 | 指数 | 前月比 | | 前年同月比 | |
|---------|-------|--------|-------|--------|-------|
| | | 変化率(%) | 寄与度 | 変化率(%) | 寄与度 |
| 総合 | 99.9 | 0.4 | 0.55 | -0.1 | -0.05 |
| 食料 | 101.2 | 2.2 | 0.00 | -0.2 | -0.05 |
| 住居 | 99.7 | 0.0 | -0.01 | -0.2 | -0.05 |
| 光熱・水道 | 106.7 | -0.2 | 0.05 | 2.2 | 0.14 |
| 家具・家事用品 | 90.4 | 1.3 | -0.20 | -0.7 | -0.02 |
| 被服及び履物 | 91.1 | -5.6 | -0.01 | -1.2 | -0.04 |
| 保健医療 | 99.6 | -0.2 | 0.00 | -0.6 | -0.03 |
| 交通・通信 | 101.8 | -0.1 | 0.00 | 0.1 | 0.02 |
| 教育 | 99.5 | 0.0 | 0.00 | 0.2 | 0.00 |
| 教養娯楽 | 95.2 | 0.2 | -0.01 | -0.8 | -0.08 |
| 諸雑費 | 103.5 | -0.1 | 0.02 | 0.1 | 0.01 |

2 総合指数の前月比に影響を与えた費目及び寄与度等

| | (10大費目) | (中分類、前月比、寄与度) | | (品目) |
|----|---------|---------------|------------|-----------------|
| | | 前月比(%) | 寄与度 | |
| 上昇 | 食料 | 生鮮果物 | 22.1 0.21 | いちご |
| | 家具・家事用品 | 家事用消耗品 | 3.4 0.03 | トレットM-パ、洗濯用洗剤 |
| 下落 | 被服及び履物 | 衣料 | -8.5 -0.14 | 婦人スーツ(秋冬物, 中級品) |
| | 光熱・水道 | 電気代 | -0.5 -0.01 | 電気代 |

3 総合指数の前年同月比に影響を与えた費目及び寄与度等

| | (10大費目) | (中分類、前月比、寄与度) | | (品目) |
|----|---------|---------------|------------|------------|
| | | 前年同月比(%) | 寄与度 | |
| 上昇 | 光熱・水道 | 上下水道料 | 4.9 0.07 | 下水道料 |
| | 交通・通信 | 自動車等関係費 | 1.8 0.19 | ガソリン |
| 下落 | 教養娯楽 | 教養娯楽サービス | -1.2 -0.07 | インターネット接続料 |
| | 食料 | 生鮮野菜 | -5.4 -0.10 | キャベツ、ごぼう |



*** 参考資料**

「月例経済報告」抜粋（平成25年3月15日：内閣府）

【基調判断】

| 2月月例 | 3月月例 |
|---|---|
| <p>景気は、一部に弱さが残るものの、<u>下げ止まっている</u>。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・輸出は、このところ緩やかに減少している。 生産は、<u>下げ止まっている</u>。 ・企業収益は、大企業を中心に<u>下げ止まりの兆し</u>がみられる。 設備投資は、<u>弱い動き</u>となっている。 ・企業の業況判断は、改善の動きがみられる。 ・雇用情勢は、依然として厳しさが残るなかで、このところ改善の動きに足踏みがみられる。 ・個人消費は、底堅く推移している。 ・物価の動向を総合してみると、緩やかなデフレ状況にある。 <p>先行きについては、当面、一部に弱さが残るものの、輸出環境の改善や経済対策、金融政策の効果などを背景に、マインドの改善にも支えられ、次第に景気回復へ向かうことが期待される。ただし、海外景気の下振れが、引き続き我が国の景気を下押しするリスクとなっている。また、雇用・所得環境の先行き等にも注意が必要である。</p> | <p>景気は、一部に弱さが残るものの、<u>このところ持ち直しの動き</u>がみられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・輸出は、このところ緩やかに減少している。 生産は、<u>持ち直しの動き</u>がみられる。 ・企業収益は、大企業を中心に改善の兆しがみられる。 設備投資は、<u>下げ止まりつつある</u>。 ・企業の業況判断は、改善の動きがみられる。 ・雇用情勢は、依然として厳しさが残るものの、このところ改善の動きがみられる。 ・個人消費は、底堅く推移している。 ・物価の動向を総合してみると、緩やかなデフレ状況にある。 <p>先行きについては、当面、一部に弱さが残るものの、輸出環境の改善や経済対策、金融政策の効果などを背景に、マインドの改善にも支えられ、次第に景気回復へ向かうことが期待される。ただし、海外景気の下振れが、引き続き我が国の景気を下押しするリスクとなっている。また、雇用・所得環境の先行き等にも注意が必要である。</p> |

【各論】

| | 2月月例 | 3月月例 |
|-----------|--|--|
| 個人消費 | 底堅く推移している。 | 底堅く推移している。 |
| 設備投資 | <u>弱い動き</u> となっている。 | <u>下げ止まりつつある</u> 。 |
| 住宅建設 | 底堅い動きとなっている。 | 底堅い動きとなっている。 |
| 公共投資 | 底堅い動きとなっている。 | 底堅い動きとなっている。 |
| 輸出 | このところ緩やかに減少している。 | このところ緩やかに減少している。 |
| 輸入 | 横ばいとなっている。 | 横ばいとなっている。 |
| 貿易・サービス収支 | 赤字は、増加傾向となっている。 | 赤字は、増加傾向となっている。 |
| 生産 | <u>下げ止まっている</u> 。 | <u>持ち直しの動き</u> がみられる。 |
| 企業収益 | 大企業を中心に <u>下げ止まりの兆し</u> がみられる。 | 大企業を中心に <u>改善の兆し</u> がみられる。 |
| 業況判断 | 改善の動きがみられる。 | 改善の動きがみられる。 |
| 倒産件数 | おおむね横ばいとなっている。 | おおむね横ばいとなっている。 |
| 雇用情勢 | 依然として厳しさが残るなかで、このところ改善の動きに <u>足踏み</u> がみられる。 | 依然として厳しさが残るものの、このところ改善の動きがみられる。 |
| 国内企業物価 | このところ緩やかに上昇している。 | 緩やかに上昇している。 |
| 消費者物価 | 緩やかに下落している。 | 緩やかに下落している。 |
| 海外経済 | 世界の景気は、弱い回復が続いているものの、底堅さもみられる。 先行きについては、当面、弱い回復が続くものの、次第に底堅さを増すことが期待される。ただし、欧州政府債務危機やアメリカにおける財政問題等により、景気が下振れするリスクがある。 | 世界の景気は、弱い回復が続いているものの、底堅さもみられる。 先行きについては、当面、弱い回復が続くものの、次第に底堅さを増すことが期待される。ただし、欧州政府債務危機やアメリカにおける財政問題等により、景気が下振れするリスクがある。 |

(注) 下線部は、先月から変更した部分。

* 参考資料

「宮崎県金融経済概況」抜粋（平成25年3月8日：日本銀行宮崎事務所）

2013年3月8日

日本銀行宮崎事務所

日本銀行鹿児島支店

宮崎県金融経済概況

宮崎県の景気は、一部の明るい動きは続いているが、生産面を中心に、全体としては持ち直しの動きが弱まっている。

1. 個人消費については、小売は、全体としては回復感に乏しい状況にあるが、一部でのやや明るい動きは続いている。観光も、低水準ながら緩やかに改善する方向にある。

—— 小売動向をみると、1月は、催事は総じて好調であったが、初売りやクリアランスセールが伸び悩んだことから、大型小売店販売額は前年を下回った。2月も、冬物のクリアランスセールや春物への需要の出足が不冴えとなるなど、衣料品販売が伸び悩んだ先が多く、全体としては引き続き回復感に乏しい状況にあるが、催事の販売が高額商品を含め総じて堅調であるほか、店舗改装効果等の持続を指摘する声が聞かれるなど、一部での明るい動きは続いている。

—— 2月の乗用車新車登録台数（含む軽自動車）は、新型車投入効果により大幅に伸びた前年の反動もあって、普通車や小型車を中心に、全体では前年を下回った。また、家電販売は、一部に白物家電の販売改善を指摘する声も聞かれるが、薄型テレビの販売不振が続く中で、全体としては低調に推移している。

—— 主要ホテル・旅館宿泊客の動きをみると、1月は、外国人客の伸び悩みや、ビジネス客の減少などにより前年を下回った。2月の当店ヒアリング先の宿泊状況を窺うと、ビジネス客の減少を主因に前年割れとなった先もみられるが、スポーツキャンプ開催による国内客の入り込みは好調となっているなど、水準としては依然低位ながらも、緩やかな改善の動きが続いている。

—— 主要観光施設入場者数をみると、1月は、県内客を中心に前年を上回った。また、2月は、週末の天候に恵まれたことで県内客の客足が増加したほか、スポーツキャンプ開催の効果もあって県外客の入り込みも好調に推移したことから、前年を上回ったとする先が多い。

2. 公共投資は、振れを伴いつつも緩やかに増加している。

—— 1月の公共工事請負金額は、県が前年割れとなったが、大口発注があった国や市町村を中心に前年を大幅に上回った。

3. 住宅投資は、低水準ながらもやや持ち直す動きがみられる。

—— 新設住宅着工戸数の動きをみると、1月は、マンション着工がみられた前年の反動もあって分譲が前年割れとなったが、持家や貸家を中心に前年を上回っており、低水準ながらも、このところやや持ち直す動きがみられる。この間、分譲業者等からは、小規模ながら消費税率引き上げを睨んだ投資前傾化の動きが聞かれている。

4. 生産は、弱まっている。

—— 鉱工業生産指数（季節調整済）の動きをみると、12月は、一部先での前月の生産急減の反動増もあって、全体では前月比やや上昇した。足許までの動きをみると、海外経済減速等を背景として、電子部品・デバイス関連では、先行き不透明感が強い中で引き続き抑制的な生産スタンスを崩していないほか、輸送用機械関連では、在庫調整のための減産が続いているなど、全体として弱まっている。

5. 雇用環境は、依然として厳しく、一部では改善の動きが若干弱まっている。

—— 1月の有効求人倍率（季節調整済）は、0.72倍と前月比ほぼ横ばいとなった。新規求人数は、卸・小売業等を中心に前年を上回っている。新規求職者数は、引き続き前年を下回っているが、事業主都合離職者が増加に転じたことなどから、その減少幅は縮小している。

—— この間、現金給与総額、常用雇用者数は、前年を小幅に上回って推移するなど、雇用環境は依然として厳しい状況ながらも、一部に明るい動きがみられる。

6. 金融面では、預金、貸出金とも前年を上回って推移している。

—— 貸出金の動きをみると、個人向けは、住宅ローンを中心に、法人向けは、金融機関の積極的な貸出姿勢を映じて、不動産業や医療・福祉業を中心に、それぞれ前年を上回って推移している。

—— 貸出約定平均金利は、緩やかな低下基調にある。

—— 企業倒産をみると、総じてみれば低位にあるが、業績改善が進んでいない企業が多いとして、先行きの倒産増加を懸念する声が引き続き聞かれている。

以 上

(データ編)

全国

| 年 月 | 雇用・労働 | | | | 実質賃金指数 | | 所定外労働 時間指数 (製造業) | 完全 失業率 (季節調整済) |
|--------|-----------------------------------|-----------------------|--------------------|-------------------------------------|------------------------|---------------------------|------------------------|--------------------------------|
| | 有効 求人倍率 (季節調整済) | 新規求職 申込件数 (原数値) | 新規 求人数 (原数値) | 常 用 雇用指数 22年=100 | 現金給与 総 額 22年=100 | きまって支 給する給与 22年=100 | | |
| 20年 | 0.88 | 6,492 | 8,142 | 98.8 | 101.3 | 99.7 | 110.9 | 4.0 |
| 21 | 0.47 | 7,919 | 6,273 | 99.6 | 98.7 | 98.9 | 75.2 | 5.1 |
| 22 | 0.52 | 7,738 | 6,858 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 5.1 |
| 23 | 0.65 | 7,516 | 7,865 | 100.6 | 100.1 | 99.9 | 100.7 | [4.6] |
| 24 | 0.80 | 6,920 | 8,845 | 101.3 | 99.4 | 99.8 | 100.9 | 4.4 |
| 24年 1月 | 0.74 | 633 | 744 | 100.7 | 85.4 | 98.9 | 96.2 | 4.5 |
| 2 | 0.75 | 603 | 773 | 100.6 | 83.6 | 99.7 | 106.4 | 4.5 |
| 3 | 0.76 | 662 | 765 | 100.2 | 87.3 | 99.9 | 107.0 | 4.5 |
| 4 | 0.79 | 760 | 708 | 101.2 | 85.6 | 100.1 | 105.1 | 4.5 |
| 5 | 0.80 | 631 | 727 | 101.5 | 84.3 | 99.0 | 97.5 | 4.4 |
| 6 | 0.81 | 545 | 717 | 101.7 | 137.3 | 100.2 | 101.9 | 4.3 |
| 7 | 0.81 | 525 | 732 | 101.7 | 114.7 | 100.3 | 101.9 | 4.3 |
| 8 | 0.81 | 521 | 751 | 101.6 | 86.9 | 99.6 | 97.5 | 4.2 |
| 9 | 0.81 | 539 | 739 | 101.5 | 84.0 | 99.5 | 98.7 | 4.3 |
| 10 | 0.81 | 595 | 819 | 101.6 | 84.6 | 100.0 | 98.7 | 4.2 |
| 11 | 0.82 | 492 | 742 | 101.7 | 87.6 | 100.3 | 98.7 | 4.2 |
| 12 | 0.83 | 414 | 628 | 101.8 | 171.9 | 100.1 | 100.6 | 4.3 |
| 25年 1 | 0.85 | 619 | 814 | r 101.3 | r 85.7 | r 98.5 | r 89.8 | 4.2 |
| 資料 | 厚生労働省 「一般職業紹介状況」 パートタイムを含む。 | | | 厚生労働省 「毎月勤労統計調査」 注) 事業所規模5人以上 | | | | 総務省 「労働力 調査」 注) 30人以上 |

[]は岩手県、宮城県及び福島県を除く全国結果。

宮崎県

| 年 月 | 雇用・労働 | | | | 実質賃金指数 | | 所定外労働 時間指数 (製造業) | 完全 失業率 (季節調整済) |
|--------|--------------------------------------|-----------------------|--------------------|--|------------------------|---------------------------|------------------------|-------------------------------|
| | 有効 求人倍率 (季節調整済) | 新規求職 申込件数 (原数値) | 新規 求人数 (原数値) | 常 用 雇用指数 22年=100 | 現金給与 総 額 22年=100 | きまって支 給する給与 22年=100 | | |
| 20年 | 0.56 | 77,201 | 62,712 | 108.6 | 104.1 | 102.4 | 79.9 | 3.4 |
| 21 | 0.39 | 87,307 | 57,100 | 102.0 | 100.4 | 100.0 | 68.6 | 4.4 |
| 22 | 0.45 | 88,158 | 65,205 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 4.8 |
| 23 | 0.58 | 87,237 | 77,631 | 99.5 | 97.9 | 98.2 | 105.7 | 4.4 |
| 24 | 0.69 | 80,102 | 86,294 | 100.8 | 98.9 | 99.1 | 94.2 | ... |
| 24年 1月 | 0.64 | 7,232 | 7,381 | 99.5 | 89.3 | 100.5 | 83.2 | - |
| 2 | 0.64 | 7,006 | 7,235 | 99.7 | 86.0 | 100.4 | 90.5 | - |
| 3 | 0.65 | 7,573 | 7,685 | 99.4 | 89.4 | 100.6 | 105.8 | - |
| 4 | 0.67 | 9,180 | 7,391 | 100.8 | 85.7 | 98.4 | 108.0 | - |
| 5 | 0.69 | 7,483 | 6,979 | 101.2 | 84.8 | 98.1 | 95.6 | - |
| 6 | 0.71 | 6,386 | 7,110 | 101.2 | 129.5 | 99.4 | 82.5 | - |
| 7 | 0.71 | 6,138 | 7,053 | 102.0 | 108.7 | 98.4 | 96.4 | - |
| 8 | 0.72 | 6,435 | 7,230 | 101.6 | 90.0 | 98.4 | 93.4 | - |
| 9 | 0.71 | 6,431 | 7,246 | 101.5 | 84.4 | 98.0 | 97.1 | - |
| 10 | 0.71 | 6,647 | 7,985 | 101.1 | 85.3 | 99.2 | 90.5 | - |
| 11 | 0.72 | 5,387 | 7,080 | 100.9 | 87.0 | 98.7 | 92.0 | - |
| 12 | 0.73 | 4,204 | 5,919 | 101.2 | 167.2 | 99.5 | 95.6 | - |
| 25年 1 | 0.72 | 7,188 | 7,979 | 101.2 | 88.4 | 98.9 | 83.2 | - |
| 資料 | 厚生労働省宮崎労働局 「労働市場月報」 パートタイムを含む。 | | | 県統計調査課 「みやざきの賃金・労働時間・雇用の動き」 注) 事業所規模5人以上 | | | | 総務省 モデル 推計値 注) 30人以上 |

注 1 この統計表の符号の用法は、次のとおりです。

「-」皆無または該当数値なし、「...」数値未詳または不明、「p」暫定(速報)数値、「r」訂正(確報)数値。

2 宮崎県の完全失業率について、労働力調査では都道府県別に表章するように標本設計を行っておらず(北海道及び沖縄県を除く)、標本規模も小さいことなどから、全国の結果に比べ標本誤差が大きく、結果の利用に当たっては注意を要します。

全国

| 年 月 | 消費 | | | | 総合指標 | | |
|--------|---------------|--------------|--------------|------------------|----------------------|------|------|
| | 大型小売店販売額 | 主要ホテル・旅館宿泊客数 | 消費者物価指数 | 家計調査消費支出(一世帯当たり) | 景気動向指数(DI) | | |
| | 億円 | | 22年=100 | 円 | 先行指数 | 一致指数 | 遅行指数 |
| 20年 | 209,511 | - | 102.1 | 296,932 | - | - | - |
| 21 | 197,758 | - | 100.7 | 291,737 | - | - | - |
| 22 | 195,791 | - | 100.0 | 290,244 | - | - | - |
| 23 | 195,933 | - | 99.7 | 282,966 | - | - | - |
| 24 | 195,916 | - | 99.7 | ... | - | - | - |
| 24年 1月 | 17,383 | - | 99.6 | 283,118 | 72.7 | 63.6 | 33.3 |
| 2 | 14,659 | - | 99.8 | 267,895 | 90.9 | 72.7 | 50.0 |
| 3 | 16,032 | - | 100.3 | 303,841 | 90.9 | 90.9 | 83.3 |
| 4 | 15,664 | - | 100.4 | 301,948 | 63.6 | 81.8 | 75.0 |
| 5 | 15,755 | - | 100.1 | 287,911 | 27.3 | 54.5 | 58.3 |
| 6 | 15,682 | - | 99.6 | 269,810 | 36.4 | 27.3 | 33.3 |
| 7 | 17,123 | - | 99.3 | 283,295 | 36.4 | 18.2 | 33.3 |
| 8 | 15,568 | - | 99.4 | 286,036 | 27.3 | 9.1 | 33.3 |
| 9 | 14,700 | - | 99.6 | 266,705 | 36.4 | 13.6 | 33.3 |
| 10 | 15,672 | - | 99.6 | 284,238 | 40.9 | 22.7 | 50.0 |
| 11 | 16,630 | - | 99.2 | 273,772 | 54.5 | 18.2 | 33.3 |
| 12 | 21,048 | - | 99.3 | 325,492 | 81.8 | 63.6 | 66.7 |
| 25年 1 | 16,872 | - | 99.3 | 288,934 | 65.0 | 80.0 | 40.0 |
| 資料 | 経済産業省「商業販売統計」 | | 総務省「消費者物価指数」 | 総務省「家計調査」 | 内閣府経済社会総合研究所「景気動向指数」 | | |

宮崎県

| 年 月 | 消費 | | | | 総合指標 | | |
|--------|---------------|--------------|--------------|------------------|-------------------|-------|------|
| | 大型小売店販売額 | 主要ホテル・旅館宿泊客数 | 消費者物価指数(宮崎市) | 家計調査消費支出(一世帯当たり) | 景気動向指数(DI) | | |
| | 百万円 | 人 | 22年=100 | 円 | 先行指数 | 一致指数 | 遅行指数 |
| 20年 | 89,268 | 1,173,461 | 102.8 | 266,500 | - | - | - |
| 21 | 85,972 | 1,050,802 | 101.2 | 243,309 | - | - | - |
| 22 | 90,594 | 1,017,207 | 100.0 | 265,322 | - | - | - |
| 23 | 89,145 | 979,809 | 99.8 | 271,162 | - | - | - |
| 24 | ... | 1,050,180 | 99.9 | ... | - | - | - |
| 24年 1月 | 8,060 | 74,162 | 100.0 | 253,035 | 100.0 | 71.4 | 60.0 |
| 2 | 6,579 | 105,297 | 100.0 | 218,162 | 80.0 | 71.4 | 40.0 |
| 3 | 7,018 | 98,083 | 100.6 | 260,649 | 80.0 | 100.0 | 80.0 |
| 4 | 7,200 | 76,794 | 100.7 | 265,126 | 80.0 | 57.1 | 80.0 |
| 5 | 7,131 | 86,307 | 100.2 | 264,920 | 80.0 | 71.4 | 80.0 |
| 6 | 6,723 | 70,717 | 99.6 | 274,221 | 60.0 | 28.6 | 40.0 |
| 7 | 7,833 | 87,319 | 99.5 | 277,420 | 20.0 | 42.9 | 40.0 |
| 8 | 7,496 | 125,012 | 99.8 | 233,243 | 20.0 | 71.4 | 20.0 |
| 9 | 6,407 | 67,845 | 100.1 | 255,433 | 20.0 | 50.0 | 60.0 |
| 10 | 6,979 | 81,305 | 100.0 | 288,203 | 20.0 | 35.7 | 80.0 |
| 11 | 7,339 | 95,723 | 99.3 | 281,038 | 40.0 | 50.0 | 60.0 |
| 12 | 9,634 | 81,616 | 99.5 | 280,889 | 80.0 | 85.7 | 40.0 |
| 25年 1 | 7,942 | 72,921 | 99.9 | 263,458 | 80.0 | 14.3 | 30.0 |
| 資料 | 経済産業省「商業販売統計」 | 県観光推進課 | 県統計調査課 | 総務省「家計調査」宮崎市 | 県統計調査課「宮崎県景気動向指数」 | | |

- 3 大型小売店販売額は、百貨店及びスーパーの販売額です。
- 4 主要ホテル・旅館宿泊客数は、平成24年12月分から調査対象を一部変更したため、平成21年1月に遡って改定しました。そのため、平成20年以前と平成21年以降の数値の単純比較ができないことに注意が必要です。
- 5 家計調査消費支出(一世帯当たり)は、二人以上の世帯です。
- 6 宮崎県景気動向指数は、採用系列の入替を行ったため、過去に遡って数値を改訂しています。

全国

| 年 月 | 生産 | | | | | | 投資 | | |
|---------|-----------------------|-------------|---------|-------------|---------|-------------|-------------------|---------|------------|
| | 鉱工業生産指数 | | 鉱工業出荷指数 | | 鉱工業在庫指数 | | 新設住宅 着工戸数 | 着工建築物 | |
| | 原指数 | 季節調整 済指数 | 原指数 | 季節調整 済指数 | 原指数 | 季節調整 済指数 | | 床面積 | 工事費 予定額 |
| 17年=100 | 17年=100 | 17年=100 | 17年=100 | 17年=100 | 17年=100 | 戸 | 千㎡ | 億円 | |
| 20年 | 103.8 | - | 104.3 | - | 106.7 | - | 1,093,485 | 157,411 | 268,082 |
| 21 | 81.1 | - | 82.1 | - | 97.2 | - | 788,410 | 115,486 | 204,066 |
| 22 | 94.4 | - | 95.8 | - | 96.0 | - | 813,126 | 121,455 | 206,913 |
| 23 | 92.2 | - | 92.4 | - | 101.7 | - | 834,117 | 126,509 | 213,030 |
| 24 | 91.9 | - | 92.5 | - | 107.2 | - | 882,797 | 132,609 | 220,260 |
| 24年 | 86.7 | 95.9 | 85.5 | 95.0 | 106.9 | 103.6 | 65,984 | 9,895 | 16,754 |
| 1月 | 94.6 | 94.4 | 95.2 | 95.3 | 107.1 | 103.1 | 66,928 | 9,788 | 16,378 |
| 2 | 102.1 | 95.6 | 106.5 | 95.8 | 101.9 | 107.5 | 66,597 | 9,906 | 16,612 |
| 3 | 90.0 | 95.4 | 89.2 | 96.4 | 104.7 | 109.6 | 73,647 | 10,954 | 18,242 |
| 4 | 88.6 | 92.2 | 88.9 | 95.1 | 107.7 | 108.8 | 69,638 | 10,697 | 17,298 |
| 5 | 96.1 | 92.6 | 96.8 | 94.2 | 107.0 | 107.5 | 72,566 | 11,411 | 18,496 |
| 6 | 95.9 | 91.7 | 94.9 | 91.3 | 110.7 | 110.6 | 75,421 | 11,419 | 19,008 |
| 7 | 87.3 | 90.2 | 88.2 | 91.5 | 110.2 | 108.8 | 77,500 | 11,706 | 19,280 |
| 8 | 91.3 | 86.5 | 94.0 | 87.6 | 105.8 | 107.8 | 74,176 | 11,674 | 19,689 |
| 9 | 91.8 | 87.9 | 90.2 | 87.5 | 109.5 | 107.7 | 84,251 | 12,195 | 20,573 |
| 10 | 90.1 | 86.7 | 89.8 | 86.8 | 110.7 | 106.4 | 80,145 | 11,472 | 19,582 |
| 11 | 87.7 | 88.8 | 91.0 | 90.3 | 103.8 | 105.1 | 75,944 | 11,490 | 18,347 |
| 12 | r 81.7 | r 89.1 | r 82.2 | r 90.0 | r 108.0 | r 104.7 | 69,289 | 10,326 | 17,011 |
| 25年 | | | | | | | | | |
| 1 | | | | | | | | | |
| 資料 | 経済産業省 「生産・出荷・在庫指数」 | | | | | | 国土交通省 「建築着工統計」 | | |

宮崎県

| 年 月 | 生産 | | | | | | 投資 | | |
|---------|------------------------|-------------|---------|-------------|---------|-------------|-------------------|-----------|------------|
| | 鉱工業生産指数 | | 鉱工業出荷指数 | | 鉱工業在庫指数 | | 新設住宅 着工戸数 | 着工建築物 | |
| | 原指数 | 季節調整 済指数 | 原指数 | 季節調整 済指数 | 原指数 | 季節調整 済指数 | | 床面積 | 工事費 予定額 |
| 17年=100 | 17年=100 | 17年=100 | 17年=100 | 17年=100 | 17年=100 | 戸 | ㎡ | 千万円 | |
| 20年 | 98.9 | - | 102.2 | - | 111.0 | - | 7,811 | 1,272,598 | 16,592 |
| 21 | 82.7 | - | 86.6 | - | 114.0 | - | 5,602 | 885,130 | 12,228 |
| 22 | 102.8 | - | 99.2 | - | 120.9 | - | 5,738 | 1,075,476 | 13,996 |
| 23 | 93.2 | - | 94.0 | - | 122.7 | - | 6,076 | 1,055,734 | 14,254 |
| 24 | 94.2 | - | 94.3 | - | 119.9 | - | 6,754 | 1,064,864 | 13,785 |
| 24年 | 85.6 | 93.9 | 84.5 | 94.3 | 123.4 | 120.1 | 540 | 75,727 | 1,025 |
| 1月 | 95.0 | 93.3 | 94.0 | 93.4 | 123.9 | 120.8 | 451 | 76,024 | 1,004 |
| 2 | 112.4 | 110.5 | 106.3 | 104.4 | 121.9 | 120.8 | 386 | 65,020 | 728 |
| 3 | 92.9 | 93.5 | 94.7 | 95.9 | 121.0 | 121.0 | 569 | 77,626 | 1,035 |
| 4 | 89.1 | 94.8 | 90.2 | 94.3 | 119.5 | 121.1 | 680 | 100,729 | 1,007 |
| 5 | 86.5 | 85.3 | 91.0 | 91.6 | 117.2 | 119.4 | 504 | 70,363 | 893 |
| 6 | 91.3 | 91.5 | 95.7 | 94.4 | 115.7 | 117.9 | 592 | 86,076 | 1,258 |
| 7 | 91.8 | 95.8 | 91.2 | 93.0 | 116.6 | 118.9 | 529 | 96,634 | 1,351 |
| 8 | 94.6 | 89.7 | 93.5 | 90.5 | 118.7 | 120.5 | 556 | 112,580 | 1,579 |
| 9 | 101.3 | 94.5 | 98.0 | 92.4 | 120.6 | 120.5 | 687 | 94,852 | 1,302 |
| 10 | 96.7 | 90.5 | 96.1 | 91.3 | 120.4 | 118.6 | 672 | 105,648 | 1,319 |
| 11 | r 93.2 | r 92.0 | r 96.9 | r 91.6 | r 120.4 | r 119.3 | 588 | 103,585 | 1,284 |
| 12 | p 85.6 | p 93.7 | p 82.9 | p 91.8 | p 123.8 | p 120.5 | 586 | 71,754 | 959 |
| 25年 | | | | | | | | | |
| 1 | | | | | | | | | |
| 資料 | 県統計調査課 「宮崎県鉱工業指数月報」 | | | | | | 国土交通省 「建築着工統計」 | | |